

公園の風景

= ヒヌマイトンボ =

山口県の絶滅危惧種に指定されているヒヌマイトンボはとても細くて小さなイトンボです。公園内のヨシ原の一角でこのトンボが発見されたのは去年のことです。気温が低い朝方や雨の日に飛ぶことが多く、昼間はヨシ原の奥にじっと潜んでいるのでヨシの奥の日陰に潜むところを発見するのはとても困難です。公園内に多くいるアオモンイトンボはどう猛なトンボで他のイトンボを捕まえて食べるので、か細いヒヌマイトンボにとって最大の天敵です。天敵から上手に逃げて隠れるように命を繋いでいる小さな生物を見守りましょう。



= カイツブリ子育て中 =

淡水池でカイツブリのペアが5組子育て中です。カイツブリのヒナは孵化後一週間くらいの間は親鳥の背中に潜り込んでいることが多いのですが、それ以後は自分で泳いで離れた場所にいる親鳥のところに餌をもらいにかけよります。餌はイトンボのヤゴが多く、公園の淡水池はヒナの餌に不自由しないようです。約20日間親鳥から餌をもらって成長したら大きめのヤゴや小魚も食べるようになり、自分で潜って餌をとるようになります。カイツブリの育雛期間は約2カ月で、同じペアが同じ年にもう1、2度繁殖をすることがあり、生まれたヒナを2番子、3番子と呼びます。6月末から7月にかけて生まれたヒナたちはもうだいぶ大きくなりましたが、2回目の抱卵を始めたペアがいて、2番子のヒナたちのかわいい様子が楽しめそうです。



= アカテガニのごちそう =



園路で見かけたアカテガニが大事そうにかかえていたのは、なんと大きなイモムシ！ アカテガニは雑食で、飼育する時にはごはんつぶ、うどん、野菜など人間が食べるものはなんでも食べるそうです。

写真のアカテガニは「う～ん重いなあ、早く帰ってこのご馳走を食べよう！」と家路を急いでいるように見えました。いろんなモノを食べるんですね。